

## Ⅱ. 2016年度通期の業績見通し

1. 連結損益計算書
2. セグメント情報
3. [参考]下期の業績見通し

## 1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
連結営業収益	4,162	4,200	37 ( 0.9)	4,269	△ 69 (△ 1.6)
連結営業利益	377	379	1 ( 0.4)	379	—
連結経常利益	350	356	5 ( 1.5)	352	4 ( 1.1)
親会社株主に帰属 する当期純利益	194	(注1) 198	3 ( 1.7)	198	—
連結EBITDA	737	(注2) 731	△ 6 (△ 0.9)	735	△ 4 (△ 0.5)
連結減価償却費	355	345	△ 10 (△ 2.8)	349	△ 3 (△ 1.1)
資本的支出	463	774	310 ( 67.0)	774	—

(注1) 2016年度予想における特別損失には、将来の体質強化を見据えたコストを2015年度実績と同水準見込んでいる。

(注2) 連結EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

# 1-2. 営業収益・営業利益の変動要因（対前期比較）

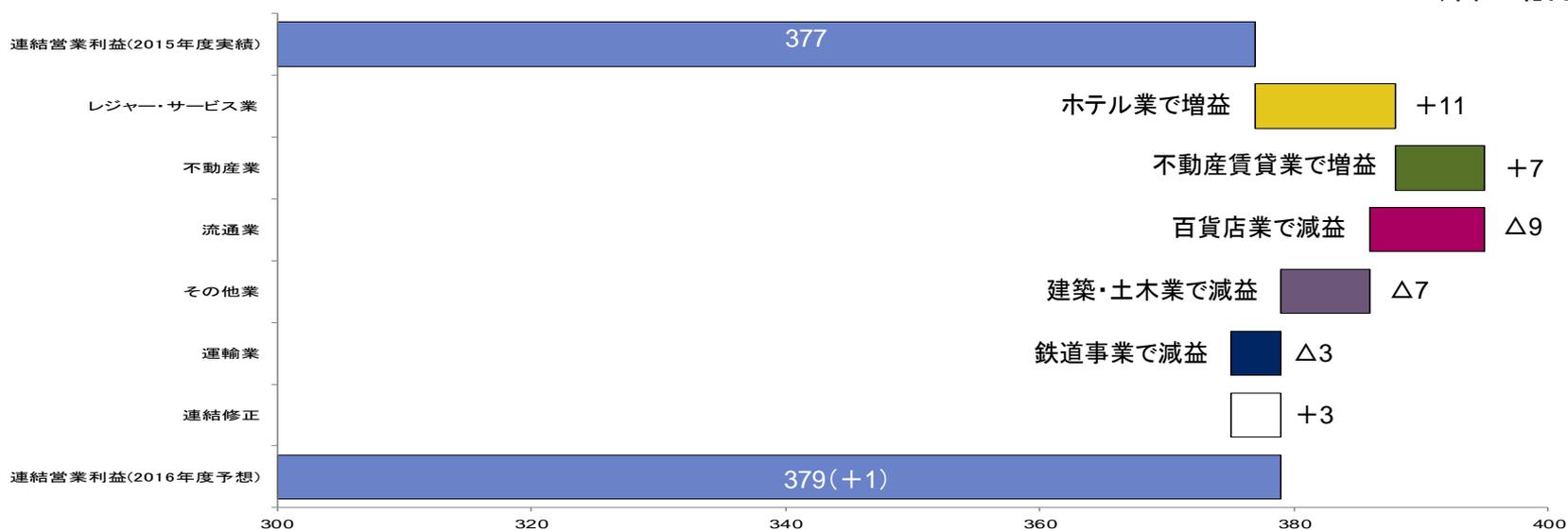
## 1. 連結営業収益

（単位：億円）



## 2. 連結営業利益

（単位：億円）



## 2.セグメント情報(運輸業①)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(鉄道事業)	837	845	7 ( 0.9)	次ページ参照	844	0 ( 0.1)
(バス事業)	353	348	△ 5 (△ 1.4)	ターミナル使用料の減少など	348	0 ( 0.0)
(タクシー業)	125	130	5 ( 4.3)		122	7 ( 6.4)
(その他)	27	26	△ 0 (△ 2.9)		26	0 ( 1.7)
(消去)	△ 51	△ 59	△ 7 —		△ 48	△ 11 —
営業収益	1,292	1,291	△ 0 (△ 0.0)		1,293	△ 2 (△ 0.2)
営業利益	150	147	△ 3 (△ 2.4)	退職給付費用の影響など	136	11 ( 8.2)
減価償却費	233	222	△ 11 (△ 4.7)		223	△ 1 (△ 0.5)
資本的支出	221	280	58 ( 26.4)		280	—
E B I T D A	384	370	△ 14 (△ 3.9)		360	10 ( 2.8)

## 2.セグメント情報(運輸業②[鉄道事業運輸成績])

(単位：千人、百万円、%)

		2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)		増減要因
輸 送 人 員	定 期	383,728	389,587	5,859	( 1.5)	雇用情勢の改善、ダイヤ改正効果など
	( 通 勤 )	289,730	295,794	6,064	( 2.1)	
	( 通 学 )	93,998	93,793	△ 205	(△ 0.2)	
	定 期 外	268,612	270,363	1,751	( 0.7)	ダイヤ改正効果など
	合 計	652,340	659,950	7,610	( 1.2)	
旅 客 運 輸 収 入	定 期	34,480	35,068	587	( 1.7)	
	( 通 勤 )	30,792	31,384	591	( 1.9)	
	( 通 学 )	3,688	3,684	△ 3	(△ 0.1)	
	定 期 外	45,832	46,226	393	( 0.9)	
	合 計	80,313	81,294	981	( 1.2)	

# 〔参考〕 主要各社の取り組み

## 京王多摩センター駅におけるサンリオピューロランドとのコラボレーション企画の実施



- サンリオピューロランドの玄関口である京王多摩センター駅において、国内外からのお客様の来訪と地域活性化を目的とした駅装飾が完成。



## 2.セグメント情報(流通業)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減 要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(百貨店業)	874	854	△ 19 (△ 2.3)	売上の 低迷など	907	△ 52 (△ 5.8)
(ストア業)	462	465	2 ( 0.6)	(注)	470	△ 4 (△ 1.1)
(書籍販売業)	81	71	△ 10 (△ 12.5)	不採算店 舗を閉鎖し た影響など	75	△ 3 (△ 5.0)
(ショッピングセンター事業)	129	125	△ 4 (△ 3.3)		126	△ 1 (△ 1.2)
(その他)	117	116	△ 0 (△ 0.5)		118	△ 2 (△ 1.9)
(消去)	△ 66	△ 65	1 —		△ 67	2 —
営業収益	1,599	1,569	△ 30 (△ 1.9)		1,632	△ 62 (△ 3.8)
営業利益	47	38	△ 9 (△ 19.1)		47	△ 9 (△ 20.2)
減価償却費	41	40	△ 1 (△ 3.0)		41	△ 1 (△ 3.2)
資本的支出	49	129	80 ( 163.2)		129	—
E B I T D A	88	78	△ 10 (△ 11.4)		90	△ 11 (△ 12.8)

(注)2016年4月にストア業を運営する「株京王ストア」と販売店業を運営する「京王リテールサービス株」が合併したことに伴い、2016年度より販売店業はストア業に含めて表示している。前年度数値についても同様の組替を行っている。

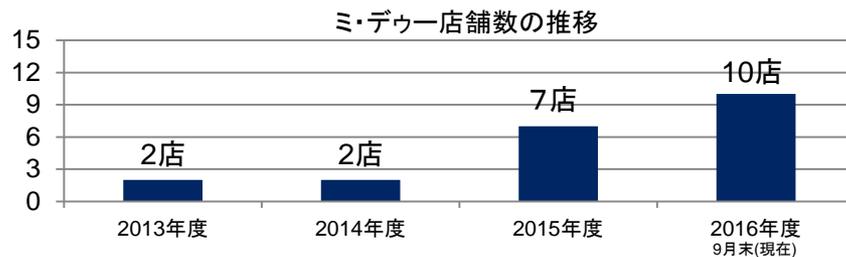
## 〔参考〕 主要各社の取り組み

### 京王百貨店における新たな取り組み

#### 卸売り事業の拡大



百貨店独自の婦人服ブランド「ミ・デウ」の出店を加速。14年に京王百貨店の新宿店、聖蹟桜ヶ丘店に出店後、15年秋から地方百貨店を中心に外部出店を本格化し、販売拠点は16年9月中旬には10店まで拡大。



#### インターネット通販事業会社の株式取得

【会社名】	セレクトチャー株式会社
【事業内容】	衣料、キッチン用品及び 雑貨のEC事業
【資本金】	10百万円
【直前期の売上高】	1,383百万円
【株式の取得先】	クックパッド株式会社

# SELECTURE

EC専門会社のノウハウやマーケティング力と京王百貨店の経営資源との相乗効果、京王グループ各社との連携等により、EC事業における新たな事業機会の創出と顧客基盤の拡充を図る。

## 2.セグメント情報(不動産業)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(不動産賃貸業)	319	337	17 ( 5.6)		333	3 ( 1.1)
(不動産販売業)	121	155	34 ( 28.2)	リノベーション物件の売上増など	143	11 ( 8.3)
(その他)	14	18	3 ( 24.9)		21	△ 2 (△ 13.5)
(消去)	△ 76	△ 82	△ 5 —		△ 76	△ 5 —
営業収益	378	428	49 ( 13.1)		421	6 ( 1.6)
営業利益	86	93	7 ( 8.2)		93	0 ( 0.4)
減価償却費	45	44	△ 1 (△ 3.1)		45	△ 1 (△ 2.4)
資本的支出	116	221	105 ( 90.9)		221	—
E B I T D A	136	142	5 ( 4.2)		143	△ 1 (△ 0.7)

参考：不動産業の営業利益の内訳

(単位：億円、%)

不動産賃貸業	82	92	9 ( 11.7)		91	0 ( 0.4)
不動産販売業	11	6	△ 4 (△ 43.2)		7	△ 1 (△ 17.3)

## 2.セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(ホテル業)	484	495	11 ( 2.4)	京王プラザホテルで客室単価が向上したことなど	496	△ 0 (△ 0.2)
(旅行業)	169	177	8 ( 4.9)	団体旅行の受注増など	178	△ 1 (△ 0.6)
(広告代理業)	120	122	1 ( 1.0)		122	0 ( 0.0)
(その他)	62	65	3 ( 4.8)		64	1 ( 1.8)
(消去)	△ 96	△ 99	△ 2 —		△ 101	1 —
営業収益	740	761	20 ( 2.8)		760	0 ( 0.1)
営業利益	60	71	11 ( 18.8)		75	△ 4 (△ 5.8)
減価償却費	33	37	4 ( 12.5)		36	0 ( 2.3)
資本的支出	76	132	55 ( 72.5)		132	—
E B I T D A	93	110	16 ( 17.5)		113	△ 3 (△ 2.7)

[参考] 京王プラザホテル(新宿)の客室稼働率〔累計〕

客室稼働率	85.8%	82.0%	△3.8P
-------	-------	-------	-------

## 〔参考〕 主要各社の取り組み

### 京王プラザホテルの改装

- 本館高層階客室を全面改装し、「プレミアグラン」として12月中旬にオープン。専用クラブラウンジも新設。
- 2020年の東京五輪・パラリンピック、2021年の50周年以降を見据え、「東京を代表するホテル」を目指す。

# Premier Grand

## 客室(37~41階)



### プレミアグラン

- 客室面積: 33.7~35.5㎡
- 客室数: 100室



### プレミアグランドスイート

- 客室面積: 71.0㎡
- 客室数: 11室

- 水廻り(浴室、洗面、トイレ)の完全3点分離
- ガラス壁の洗い場付きユニットバス
- EVカードキー制御によるフロアセキュリティ など

## 専用クラブラウンジ(45階)



### クラブラウンジ

- 敷地面積: 約535㎡

- 高品質なクラブラウンジ朝食
- 専用チェックインカウンター
- 専任コンシェルジュサービス

室料収入の最大化をめざし、  
「京王プラザホテルブランド」の更なる価値向上を図る。

## 2.セグメント情報(その他業)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(ビル総合管理業)	224	232	7 ( 3.5)		228	4 ( 1.8)
(車両整備業)	94	97	2 ( 3.0)		95	1 ( 1.9)
(建築・土木業)	242	217	△ 25 (△ 10.3)	完成工事高が減少したことなど	222	△ 5 (△ 2.5)
(その他)	71	76	4 ( 6.8)		76	△ 0 (△ 0.6)
(消去)	△ 24	△ 22	2 -		△ 32	9 -
営業収益	608	601	△ 6 (△ 1.1)		591	9 ( 1.6)
営業利益	43	35	△ 7 (△ 17.2)		35	0 ( 1.2)
減価償却費	3	2	△ 0 (△ 10.0)		3	△ 0 (△ 26.0)
資本的支出	6	16	10 ( 178.4)		16	-
E B I T D A	46	38	△ 8 (△ 17.3)		40	△ 1 (△ 3.8)

## 3. [参考] 下期の業績見通し(連結損益計算書・セグメント情報)

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益		
	2015年度 下期実績	2016年度 下期予想	増減 (増減率)	2015年度 下期実績	2016年度 下期予想	増減 (増減率)
運 輸 業	640	639	△ 1 (△ 0.2)	49	44	△ 5 (△ 10.9)
流 通 業	827	822	△ 5 (△ 0.7)	19	17	△ 2 (△ 11.2)
不 動 産 業	201	241	39 ( 19.8)	34	41	6 ( 20.0)
レジャー・サービス業	375	378	2 ( 0.7)	18	30	11 ( 59.7)
そ の 他 業	392	387	△ 5 (△ 1.3)	35	28	△ 6 (△ 19.4)
連 結 修 正	△ 300	△ 294	5 —	△ 10	△ 6	3 —
合 計	2,137	2,173	36 ( 1.7)	148	155	6 ( 4.7)

(単位：億円、%)

	2015年度 下期実績	2016年度 下期予想	増減 (増減率)	
経 常 利 益	134	143	8	( 6.4)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	54	53	△ 0	(△ 0.7)